

病院理念

湖西地域の中核病院として、住民の方々の健康を守り、医療の充実に努めます。

基本方針

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

夏の感染症にもご注意ください

これから日中の気温も上がり、夏本番となってきます。暑い日が連日続くと、体も疲れやすくなり、感染症にかかりやすくなってしまいます。そこで、夏にかかりやすい感染症とその対策をお話しします。

代表的な“夏かぜ”として「咽頭結膜熱（プール熱）」「ヘルパンギーナ」「手足口病」「RSウイルス感染症」があります。詳しい症状は以下の通りです。



名称	症状
咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状が数日続く、子供に多く見られる感染症です。感染した人が使ったタオルなどの共有により、感染が広がります。
ヘルパンギーナ	発熱と喉の痛みが主な症状です。合併症として、熱性けいれん、特に乳児では脱水症などに注意が必要です。症状が消えても、一定期間便からウイルスが出ていると言われています。
手足口病	口の中や、手足などに水疱性の発しんが出る感染症です。発熱は感染した人のうち約3分の1に見られますが、あまり高熱にならないことがほとんどです。一定期間便からウイルスが出ると言われているので注意が必要です。
RSウイルス感染症	発熱、鼻水などの症状が数日続きます。時に、咳が悪化し、ゼーゼーなどと音がする喘鳴という状態が現れます。発生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%のお子さんが1度は感染するとされています。

予防の基本は、**手洗い**（帰宅後や食事の前、トイレの後には流水とせっけんによる手洗い）、**うがい**、**十分な栄養・睡眠をとること**です。

咳や鼻水が出る時は、マスクができる年齢のお子さんや大人はマスクをつけましょう。

上記のような症状で受診をするときには、予めお電話にてご連絡ください。



高島市民病院まつりへのご来場誠にありがとうございました！



令和7年5月31日（土）に高島市民病院において『病院まつり』を開催いたしました。

今回は悪天候で少し肌寒い中ではございましたが、多数の方にご来場いただき、用意していた参加賞が早くなくなるほどの大盛況で終わることができました。職員一同、大変感謝しております。今後とも高島市民病院をどうぞよろしくお願いいたします。